

2024 SUPER GT300 Round.6 SUGO ~ Race Report ~



VELOREX
Fueled by Ambition

2024 SUPER GT300 Round.6 SUGO ~ Race Report ~

大会概要

2024年 SUPER GTシリーズ 第6戦

大会名称

2024 AUTOBACS SUPER GT Round6 SUGO GT 300KM RACE

開催日時

9月21日 土曜(予選) 9月22日 日曜(決勝)

開催サーキット

スポーツランドSUGO(1周:3.586km)

所在地:宮城県柴田郡村田町

同時開催レース

FIA-F4選手権シリーズ第9戦・第10戦

主催

株式会社菅生/菅生レーシングスポーツクラブ(SRSC)/株式会社GTアソシエーション

公認

国際自動車連盟(FIA)

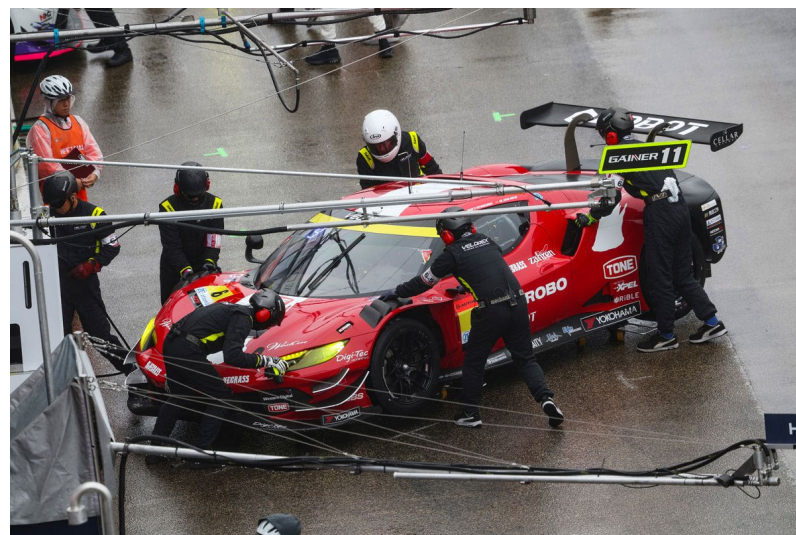
一般社団法人日本自動車連盟(JAF)

認定

株式会社GTアソシエーション

後援

経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ議員連盟/公益社団法人宮城県観光連盟/
河北新報社/村田町/名取市/大河原町/柴田町/蔵王町/川崎町/岩沼市観光物産協会



◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+O



ロベルト メリ ムンタン
ROBERTO MERHI MUNTAN

生年月日 1991年3月22日
出身地 スペイン
身長 178cm
体重 70kg
血液型 RH+O

■ 代表

古場 博之

■ 監督

小倉 啓悟

■ スタッフ

チーフエンジニア
チーフメカニック

Mattia Oselladore
片岡 恵人

■ スポンサー

アスカ株式会社
C I S 株式会社
ザーレン・コーポレーション株式会社
T O N E 株式会社
D O B O T ジャパン株式会社
ニチアス株式会社
エバー株式会社
コスモ開発株式会社
岡田金属株式会社
株式会社ジョイフル設備
エクセルフィルム株式会社
M I D T O W N B B Q
カトー機械株式会社
青山エレベーター株式会社
株式会社デジテックエイチピー
株式会社マイティミズタニ
医療法人社団ヒロデンタルクリニック

朝日金属株式会社
株式会社安藤・間
城東電機株式会社
ウエスタンデジタル合同会社
株式会社リブレ
見田工作株式会社
愛知電線株式会社
笹原金型株式会社
有限会社大和工業
有限会社ます徳
アクセル有限会社
OIRC
ARMS株式会社
RAIDEN
株式会社ジョイフル設備
株式会社アクトライズ
高新自動車学校

◆ 予 選

天候 雨

コース状況 ウェット

気温 16℃ (GT300クラスQ1開始時)

路面温度 20℃ (GT300クラスQ1開始時)

予選開始 14時55分 (GT300クラスQ1開始予定時刻)
ディレイの末、中止



VELOREX (Team LeMans)は、昨年に引き続き、SUPER GT GT300クラスに参戦する。4年目となる今シーズンは、マシンをAudi R8 LMSからFERRARI 296 GT3に変更し、マシン名を「UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI」とした。一方、ドライバーは昨年同様、第1ドライバーに片山義章、第2ドライバーにロベルト・メリ・ムンタンを起用。チーム体制も継続し、2023シーズンを上回る活躍を目指す。タイヤは、これまでどおりヨコハマタイヤを装着する。今シーズンのSUPER GTは更に予選方式が変更され、Q1、Q2のタイム合算方式は変わらないものの、GT300クラスの場合、Q1は全車参加で20分間のQ1を行ない、上位14台がQ2 Upper 14th)、15位以下がQ2 Lower 15thに分かれてそれぞれ10分間のQ2に挑む。予選順位はQ1、Q2の合算タイムで決まり、Upper14thでQ2を走行したグループの中からポールポジションが決まる。雨天の場合、スターティンググリッドはQ2を走行したドライバーのタイムで決められる。なおルール変更によりQ1、Q2で新品タイヤが使用可能となり、レースウィークを通じての使用可能タイヤセット数の制限があるため、昨シーズンにも増してタイヤのマネージメントが重要になる。(※今大会は悪天候で予選がキャンセルされたため、午前中の公式練習のタイムで予選順位を決定することとなった)

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：24位 (公式練習ベストタイム：1分37秒479 / ロベルト選手：1分37秒479 / 片山選手：出走せず)

予選日は朝から冷たい雨が降り続き、気温17℃、路面温度20℃というコンディション。9時15分からSUPER GT第6戦の公式練習がスタートした。鈴鹿サーキットで開催予定であった第5戦が台風のため12月に延期され、第5戦から採用予定であった予選ルールが今大会から実施される。チームは前回のレースで問題となった暑さ対策を施してきたものの、むしろ肌寒いほどの気温は想定外の状況であった。天候が悪化して予選がキャンセルとなった場合、公式練習のタイムでグリッドを決定する旨が事前に通達されており、各チームとも雨の中、予選さながらの攻撃を続けたことで合計5回の赤旗が出される荒れたセッションとなった。

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIは走行開始直後からマシンのバランスが悪く、ロベルト選手が走行を続けるものの、赤旗のタイミングも悪く、十分なアタックができずにいた。そしてGT300クラスの専有走行でアタックに出たものの、バックストレッチでハイドロプレーニング現象が発生、コントロールを失ったマシンは馬の背コーナーのタイヤバリアに激突した。幸いロベルト選手に怪我はなかったものの、事故の衝撃が大きかったために念のため救急車でメディカルセンターへと運ばれ、公式練習はこの赤旗をもってすべて終了。チームは必死に壊れたマシンを修復し、予選開始時刻までに間に合わせたが、天候悪化のため予選はキャンセルとなった。公式練習の結果、決勝レースは24番手グリッドからのスタートとなった。

◆ 決 勝

天候 雨/晴れ

コース状況 ウェット/ドライ

気温 20℃ (スタート時)

路面温度 24℃ (スタート時)

決勝レース開始 14時22分
(正式スタート時刻 14時22分00秒)

予定走行時間 300km
(正式フィニッシュ時刻 16時33分57秒)



#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI (片山&ロベルト選手)

決勝結果：リタイア (所要時間：48週消化/ベストラップ：1分26秒894=ロベルト選手)

第5戦鈴鹿大会が雨で中止となったために、実質的な後半戦の幕開けとなった第6戦スポーツランドSUGO大会は、週末を通して雨に翻弄され、タイムスケジュールの遅延が相次いだ。しかし主催者側の適切な判断で、なんとかウォーミングアップ走行が開始され、スターティンググリッドにマシンが並べられるころには雨もあがり、スタート直後には雲の切れ間から太陽の日差しが差し込む瞬間もみられるほど回復した。

交通機動隊を先導としたパレードラップもキャンセルとなり、セーフティカー先導のもとに300kmのレースが無事スタートした。24番手からスタートした片山選手は、セーフティカースタートでタイヤを温めながら集中力を高め、4周目にグリーンフラッグが出されると、濡れた路面にもかかわらずいつもの好ダッシュを見せ、前を行くマシンを次々とオーバーテイクしはじめた。5周目に一気に18番手まで浮上すると、8周目には17番手へとポジションをアップしたものの、12周目の第1コーナーから第2コーナーにかけて彼をオーバーテイクしようとしてコースアウトしたGT500マシンがコースに戻ってきたタイミングで6号車に激突し、ピットロードまで押し込まれてストップしてしまう。大きくタイムロスしたが再スタートし、再び追い上げを開始。23番手までドロップするものの、ふたたび16番手まで挽回し、GT300マシンのアクシデントによって出されたセーフティカーによってピットクローズされ、再びピットが開放されたタイミングでピットイン。路面コンディショニング的にはやや早めのタイミングではあったが、乾き始めた路面に対しスリックタイヤを装着し、大逆転劇を狙ってロベルト選手をレースに復帰させた。

ウェットタイヤが多数を占める中、いち早くスリックを装着したことでロベルト選手は順調にポジションをアップ。しかし遅いマシンを抜き去る際に接触して右リヤホイールを痛め、タイヤがバーストしたことで緊急ピットイン。タイヤ交換してコースに復帰するものの、片山選手のスティントでのセーフティカー手順違反に対してドライブスルーペナルティを受けることとなった。そしてロベルトが再度オーバーテイク時に接触をしてしまい、左サイドにダメージを受けピットに戻る。マシンはサスペンションにダメージを受けており、チームはドライバーの安全を優先し、苦渋のリタイアという決断を出した。今回のレースは無念のノーポイントに終わる結果となった。

片山 義章 選手のコメント

公式練習でのクラッシュは、彼の身体にダメージがなくて本当に良かったです。自分は公式練習を走れませんが、ミドルフォーミュラで雨のスポーツランドSUGOを充分走り込んでいたので雨のレースには自信がありスタートからフルプッシュでいけました。かなりポジションを上げてペースも良かったのですが、第1コーナーでアウトから抜きにきたGT500車両がそのままエスケープロードへ飛び出し、自分がイン側にいたのに戻ってきたタイミングで突っ込まれてしまいました。かなり大きな衝撃だったのでもうダメかなと思いましたが、幸い再スタートが切れたので、諦めることなくそのまま再び追いつけようと思い始めました。

ロベルトに交代してスリックタイヤでのペースも上がり、これからというときに接触が原因によるトラブルでレースを終えることになってしまい、残念で仕方ありません。次のレースこそは優勝を狙って頑張りたいと思います。

ロベルト・メリ・ムンタン 選手のコメント

公式練習から予選、決勝を含めて本当に運もチャンスも無かったレースでした。

公式練習でのクラッシュでかなり精神的に落ち込みましたが、チームスタッフや友人が励ましてくれたおかげで、決勝レース前にはいつも通りリラックスした気分に戻ることができました。

マシンは完璧に修復されていましたが、チームの戦略も最適でしたが、悪い時に悪いことが重なってしまい、リタイアという残念なレースに終わりました。この悔しさは、必ず次のレースで挽回してみせます。

監督コメント

今年の菅生ラウンドは、すべての歯車が噛み合わなかったレースでした。事前に“悪天候で予選がキャンセルされた場合には、公式練習のタイム順でグリッドが決まる”と聞いていましたが、持ち込みのセットアップが合っておらず、選択したレインタイヤが路面状況とマッチしていなかったうえに何度も赤旗が出されたことで、満足にアタックができない状態でGT300クラスの専有走行を迎えてしまいました。

ロベルト選手がタイムを出しにいろいろ頑張ったのですが、ハイドロプレーニング現象が起きてクラッシュしてしまいました。マシンのダメージも予想以上に大きく厳しい状況でしたが、メカニックたちが頑張ってくれたおかげで何とか予選開始時間までに修理は間に合いました。しかし結局予選はキャンセルされ、グリッドも24番手と後方に沈んでしまいました。

決勝レースは雨の中、片山がかなりハイペースで追いつけてくれたのですが、2コーナーでGT500クラスのマシンに当てられてしまい、周回遅れになるほどのタイムロス。雨量が減り、路面が乾き始めたのでいち早くスリックタイヤに交換する賭けに出て、戦略どおりロベルト選手が追いつけ始めた矢先に、他車と接触してタイヤがバースト。セーフティカー手順違反でドライブスルーペナルティを受け、さらに接触事故でサスペンションにダメージが及び、ドライバーの安全を考えてリタイアする決断を下しました。

自分たち VELOREX は諦めません。次のレースでは必ず表彰台の真ん中に立てるように頑張りますので、これからも応援よろしくをお願いします。今日は本当にありがとうございました。



WestCove

BLUEGRASS

UNI-ROBO

DOBOT

zahren

TONE

OIRC



KOHSHIN DRIVING SCHOOL
SAFE DRIVE
高新自動車学校

EVER CORPORATION



ニチアス

METAL RECOVERY
OKADA KINZOKU

AOYAMA
ELEVATOR

カトー機械株式会社

Digi-Tec
INTECNO

MAITY
MATTY MOLTAN ENGINEERING SYSTEM

MIDTOWN BBQ
www.midtown-bbq.com

Western Digital.

The
CELLAR
G O T E M B A

ESTATE SALE
SUPREMACY

JOTO DIRECT

見田工作

ASAHI 朝日金属株式会社

RiBLE

HA
Human & ARMS

SASAHARA

DALWA

XPEL
J A P A N

ActRizz

英摩法人社団
ヒロ デンタル クリニック

安藤ハザマ
HAZAMA ANDO CORPORATION

AEW 愛知電線

UT Co.,Ltd.

Sponsor introduction

VELOREX
Fueled by Ambition